

## 回避・制限性食物摂取症 と 神経性やせ症

神経性やせ症のように、やせ願望や体重体形に  
こだわりがありません。

|                  | 回避・制限性<br>食物摂取症                                     | 神経性やせ症                        |
|------------------|---|-------------------------------|
| 特徴               | 体重や体形に<br>こだわりは<br>ありません                            | 体重や体形に<br>強いこだわりが<br>あります     |
|                  | 喉に詰まることや、<br>食べることで<br>吐き気や腹痛が<br>生じることを<br>不安に感じます | やせていても<br>太っていると<br>感じます      |
| 食事               | 食事量を減らします   |                               |
| やせる<br>ための<br>行為 | 行いません   | 過剰の運動や、<br>吐いたり下剤を<br>使ったりします |
| 体形               | やせています  |                               |




### 福岡県摂食障害支援拠点病院

 <http://edsupport-fukuoka.jp>

 092-642-4869

 [info@edsupport-fukuoka.jp](mailto:info@edsupport-fukuoka.jp)

 月・水・金（祝日除く）  
9：00～16：00

 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1  
九州大学病院 外来診療棟 4階西



福岡県摂食障害支援拠点病院は、福岡県と国の予算で  
運営されている事業です。摂食障害の患者さんやご家族  
のための相談窓口として、お悩みやご不安などをお聞き  
するとともに、ニーズに応じた支援を行っています。  
ご相談は、電話・メール・面談によりお受けしております  
ので、お気軽にご連絡ください。

## 回避・制限性 食物摂取症 (ARFID)

福岡県摂食障害支援拠点病院

# 回避・制限性食物摂取症

Avoidant Restricted Food Intake Disorder

食事の量や食べ方など食事に関連した行動の異常が見られ、心と体の両方に影響が及ぶ病気をまとめて摂食障害と呼びます。回避・制限性食物摂取症も摂食障害の一つです。子どもに多い病気ですが、大人でも発症することがあります。

食べることや食べ物に興味がない、特定の食べ物の食感を嫌がる、食べることで嫌なことが起きるのではないかと不安などから、食べ物を少量しか食べなかったり、拒むことで、栄養が不足したり体重が減少します。

## 人によって異なる症状



- 特定の食べ物の色、食感、匂いなどを嫌がります
- 偏食ではありません



お腹が痛くならないか不安に思います

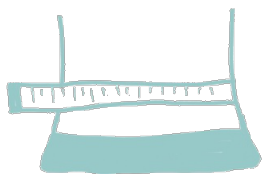


- 喉に詰まるのではないかと不安に思います
- 固形物が苦手です

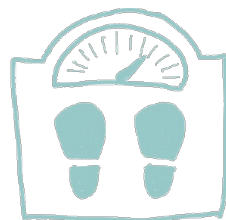


- 吐き気や吐くことに強い恐怖があります
- 食べて気持ち悪くならないか不安に思います

## 共通してみられる症状



やせたい訳ではありません



- 低体重です
- 栄養が不足します



- 少量しか食べません
- 食べることを拒みます

どれかが当てはまるからといって、必ずしも病気とは限りません。他の身体疾患との鑑別も必要です。まずはお近くの医療機関などにご相談ください。

